

申し込み不要
YouTube配信

平和の大切さを知り・学び・次世代に伝える ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

コープみらいでは、核兵器や戦争の悲惨な事実を知り、学び、次世代に伝えていくことを目的に「平和の旅」を実施し、平和について組合員の皆さんと、また親子で学べる機会を大切にしています。2021年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により「平和の旅」は中止となりましたが、オンラインでご自宅から参加いただける「ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ」を開催します。

これまで広島・長崎に足を運ぶことができなかつた方も、被爆の証言や碑めぐりなどをライブ配信や動画でご覧いただくことで、被爆の実相を知ることができます。ご都合のつく時間に、子どもから大人まで、家族や知り合いと一緒に、ぜひご参加ください。

主催：広島県生活協同組合連合会、長崎県生活協同組合連合会、日本生活協同組合連合会

in ヒロシマ(8月4日～8月5日) ヒロシマの心をあなたへ ～被爆76年戦争も核兵器もない世界をめざして

8月4日(水)	13:30～14:30(60分) 【LIVE配信】	【被爆の証言「サダコと折り鶴の話」】 「原爆の子の像」で知られる佐々木禎子さんについて、同級生でご自身も被爆者である川野登美子さんのお話を聴きます。
	16:00～18:00(120分) 【LIVE配信】	【デジタルアーカイブを活用した継承学習会(仮)】 東京大学の渡邊英徳教授に、証言や写真など被爆に関するさまざまな資料がデジタルアース上で閲覧できる「ヒロシマ・アーカイブ」などの取り組みについて説明いただき、その活用などを考えます。
8月5日(木)	10:00～11:00(60分) 【LIVE配信】	【被爆体験伝承講話】 被爆者の被爆体験や平和への想いを受け継ぎ、それを伝えている「被爆体験伝承者」の講話を聴きます。
	13:30～15:40(130分) 【LIVE配信】	【ヒロシマ虹のひろば】 広島から全国の皆さんへさまざまなプログラムをお送りします。ジャズトリオによる被爆ピアノコンサートや、被爆体験の証言、県内高校生による取り組み紹介などを予定しています。

in ナガサキ(8月7日～8月8日) 戦争も核兵器もない平和な未来を ～被爆76年ナガサキの想いを継承し、家族・地域の中で語り合おう

8月7日(土)	14:30～15:30(60分) 【LIVE配信】	【被爆の証言「平和の紙芝居」】 被爆の実相と核兵器の怖さを伝え、平和行動を行ってきた三田村静子さんの手づくり「平和の紙芝居」を聴きます。
	17:00～18:00(60分) 【LIVE配信】	【被爆の証言①(仮)】 被爆者ご自身の体験を直接伺って被爆の実相を学びます。
8月8日(日)	10:30～11:40(70分) 【LIVE配信】	【被爆体験記の朗読会】 被爆体験の継承を目的とした朗読ボランティア「永遠の会」による被爆体験記の朗読を聴きます。基礎知識や背景などもご説明いただきながら、被爆の実相と平和を願う想いを伝えます。
	13:30～15:30(120分) 【LIVE配信】	【ナガサキ虹のひろば】 被爆者による基調講演をはじめ、地元の高校生による取り組み紹介、被爆ピアノコンサート等を予定しています。長崎からさまざまなプログラムをお届けします。

上記のLIVE配信は、後日に見逃し動画の公開を予定しています。その他、被爆証言や被爆詩の朗読会、オンライン碑めぐりなど、8月4日、7日にそれぞれ公開される動画が用意されています。



参加方法: 右記のURLまたは二次元バーコードからアクセスし、視聴(参加)したい配信や動画を選んでご参加ください。
(事前申し込み不要。参加費無料)

<https://peace.jccu.coop>



報告

ピースアクション in オキナワ ～第38回沖縄・基地めぐり～

太平洋戦争末期、沖縄では住民を巻き込んだ地上戦が行われ、多くの命が犠牲となりました。

今年はコロナ禍のため沖縄を訪れることはできませんでしたが、3月26日(金)に日本生協連主催で「ピースアクションinオキナワ」がオンラインで開催され、沖縄の歴史や基地問題についての講演、沖縄戦体験談などを聴き、平和の大切さについて学びました。

●学習講演



沖縄県内の学校を中心に、平和学習の事前授業を行っている講師の琉球大学教育学部准教授の山口剛史さんと一緒に、沖縄戦や基地問題についてクイズ形式で交流しました。
そして、学習講演に参加した子どもたちの質問に答えてもらったり、いろいろな学習を通じて「なぜ平和が大切なのか、なぜ戦争はダメなのかを自分自身の力で考え、学ぶことがとても大切」とお話しいただきました。

参加者の感想

ありがとうございました。沖縄の子どもたちは安全な空の下で安心して運動することさえできないということは、私たち日本人全員が重く受け止めなければならない事実として、もっともっと知らしめていかなければならないですね。少しでも周囲に伝えていきたいと思います。

●講演 戦争体験を聞く ～学童疎開船「対馬丸」



1944年8月、9歳(国民学校4年生)の時に疎開のため乗船した対馬丸が長崎に向かう途中、鹿児島沖で米軍潜水艦の魚雷により沈没し、多くの学童を含む人たちが犠牲になりました。一命をとりとめた平良さんは6日間の漂流の後、奄美大島の無人島に流れ着きました。終戦後は小学校の教師となり、退職後も平和問題に関する講演活動続ける、平良啓子さんに当時の体験を語っていただきました。

参加者の感想

まだ9歳なのに生きる知恵を大人よりたくさん知っていてビックリしました。再びお母さんに会うために必死で生きられたのですよね。自分と同じ体験をさせたくないから戦争は絶対ダメという言葉が印象的でした。

当日のプログラムは以下のURLにて、YouTubeでの見逃し配信をしています。ぜひご視聴ください。

「ピースアクションinオキナワ」
見逃し配信はこちら

<https://jccu.coop/activity/future/okinawasenseki2020/> または



【お問い合わせ】 コープみらい東京都本部 参加とネットワーク推進部 TEL.03-3382-5665 受付時間/9:00～17:00(土・日・祝休業)